

**【資料2】 小・中学校、体育施設  
(大佐渡エリア)**

【凡例】 ○※1更新(建替え)に伴う ○※2防災補強・耐震確保に伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

**【小・中学校方針等】**

”佐渡市小学校・中学校再編統合計画”に基づき、再編統合関係校がそれぞれの学校運営協議会の構成委員を中心に設置する「学校再編統合協議会(仮称)」において、検討・協議を進めます。  
その後、合同の協議会等において、再編統合の方向性や課題の整理と対応等の協議・調整を重ねながら進めていきます。

No.	財産分類(小)	施設名	延床面積	(H30～R2年度)年度利用数平均(人)	定量的評価(一次評価)	方策パターン						
						集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)
大-1	幼稚園・小・中学校	<b>内海府小・中併設校 体育館</b>  両津地区 建築年(経過年/耐用年) 1984年(39/34)	750	3	C	○※1、△、総	○※1、△、総	○				○※2
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				— (—%)	—		2004年度以降は主な改修履歴はなし。					
大-2	幼稚園・小・中学校	<b>金泉小学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 1993年(30/34)	1,315	49	C	○※1、△、総	○※1、△、総	○				○※2
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				25/122 (20.5%)	バスケットボールクラブ 他団体		2014年度に渡り廊下の防水改修を実施。					
大-3	幼稚園・小・中学校	<b>高千小学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 1989年(34/34)	1,125	31	C	○※1、△、総	○※1、△、総	○				○※2、個
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				2/122 (1.6%)	佐渡市(健診)		2010年度および2012年度に外壁の改修を実施。学校施設長寿命化計画:2026年度～2027年度にかけて大規模改修を行う予定。					
大-4	幼稚園・小・中学校	<b>七浦小学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 1976年(47/34)	528	42	C	○※1、△、総	○※1、△、総	○				○※2、個
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				2/122 (1.6%)	保育園		2004年度以降は主な改修履歴はなし。					
大-5	幼稚園・小・中学校	<b>相川小学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 2016年(7/47)	1,456	99	C	○※1、総	○※1、総	○				○※2、個
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				61/122 (50.0%)	一般バスケクラブ バドミントンクラブ ジュニア体操・サッカー 空手		主な改修履歴はなし。					
大-6	幼稚園・小・中学校	<b>高千中学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 1983年(40/34)	1,371	16	B1	総	総	○				○※2
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				37/122 (30.3%)	バドミントンクラブ		2005年度に大規模改造を実施。2025年度に照明設備更新工事予定。					
大-7	幼稚園・小・中学校	<b>相川中学校 体育館</b>  相川地区 建築年(経過年/耐用年) 1994年(29/34)	1,658	104	B1	総	総					○※2
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等					
				80/122 (65.6%)	バドミントンクラブ×2 ソフトバレークラブ 他団体		2015年度に大規模改修を実施。					

No.	財産分類(小)	施設名	延床面積	機能	定量的評価(一次評価)	方策パターン								
						集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)	廃止(売却/譲渡/跡地活用)	
大-8	体育施設	<b>相川体育館</b>  建築年(経過年/耐用年)・地区 1982年(41/47)・相川地区	3,109	アリーナ	C	○※1、△	○※1、△	○	○※1				○※2	
				収入平均(千円)	支出平均(千円)	年度利用数平均(人)	稼働率(利用日/日数)		主な利用時間帯	主な利用団体等				
				178	2,852	4,635	アリーナ		111/122 (91.0%)	昼夜両方	一般市民個人、ミニバスケクラブ 一般バスケクラブ、空手団体			
				政策優先度	所管課の考え(方針等)									
				施設の状況	2019年度に雨漏りの影響による箇所の修繕を実施済み。2020年度にキャリヤー手すり塗装を実施済み。窓サッシ・暗幕・排風機ダクトの老朽化による取替工事、照明のLED化による改修工事、雨漏りによる外壁塗装が必要。						老朽化への対応による施設利用者の安全確保を最優先として、個別対応策は機能修繕とする。			

## 【資料2】 小・中学校、体育施設 (中央エリア)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

### 【小・中学校方針等】

”佐渡市小学校・中学校再編統合計画”に基づき、再編統合関係校がそれぞれの学校運営協議会の構成委員を中心に設置する「学校再編統合協議会(仮称)」において、検討・協議を進めます。  
その後、合同の協議会等において、再編統合の方向性や課題の整理と対応等の協議・調整を重ねながら進めていきます。

No.	財産分類 (小)	施設名	延床面積	(H30～R2年度) 年度利用数 平均(人)	定量的 評価 (一次評価)	方策パターン							
						集約化	複合化	転用	施設規模 の縮小 (減築)	民間 施設の 活用	実施主 体・管理 運営主体 の変更	現状 維持 (更新)	廃止 (売却/譲 渡/跡地 活用)
中-1	幼稚園・ 小・中学校	両津吉井小学校 体育館 両津地区 	981	73	C	○※1、 △、総	○※1、 △、総	○				○	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				104/122 (85.2%)	ミニバスクラブ スポ協ソフトテニス教室 一般バレーチーム×2		主な改修履歴はなし。						
建築年(経過年/耐用年)		1999年(24/34)											
中-2	幼稚園・ 小・中学校	加茂小学校 体育館 両津地区 	800	182	B1	△、総	△、総					○※2、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				69/122 (56.6%)	ミニバスクラブ サッカー、フットサルクラブ×2 他団体×2		学校施設長寿命化計画:2023年度～2024年度にかけて大規模改修を行う。						
建築年(経過年/耐用年)		1969年(54/34)											
中-3	幼稚園・ 小・中学校	河崎小学校 体育館 両津地区 	1,013	89	C	○※1、 △、総	○※1、 △、総	○				○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				68/122 (55.7%)	ミニバスクラブ×2 一般バドミントンクラブ 他団体		2017年度に大規模改修(アリーナ・外壁・屋根・トイレ)を実施。						
建築年(経過年/耐用年)		1983年(40/34)											
中-4	幼稚園・ 小・中学校	両津小学校 体育館 両津地区 	2,472	126	C	○※1、総	○※1、総	○				○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				105/122 (86.1%)	ミニバスクラブ×3 ジュニアバレークラブ 少年野球クラブ サッカークラブ 一般バスケクラブ		2010年度に耐震補強・改修を実施。 2025年度に照明設備更新工事予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1970年(53/47)											
中-5	幼稚園・ 小・中学校	両津中学校 屋内運動場 両津地区 	1,717	124	B1	総	総					○	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				106/122 (86.9%)	ジュニアバレークラブ 一般バレークラブ×4 一般バスケクラブ×3 他団体×3		2006年度に屋根・外壁の改修(一部)を実施。						
建築年(経過年/耐用年)		2002年(21/34)											
中-6	幼稚園・ 小・中学校	河原田小学校 体育館 佐和田地区 	1,574	161	C	○※1、 △、総	○※1、 △、総	○				○※2、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				72/122 (59.0%)	ジュニアバレークラブ バドミントンクラブ ミニバスクラブ 空手スポ少 少年野球クラブ		2011年度屋根改修、2015年度外壁改修(一部)実施。 2018年度に沢根小学校を統合。壁漏りや外壁の剥離等が見受けられる。 学校施設長寿命化計画:2025年度に大規模改修を予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1986年(37/34)											
中-7	幼稚園・ 小・中学校	二宮小学校 体育館 佐和田地区 	816	180	B1	△、総	△、総					○、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				114/122 (93.4%)	ジュニアサッカークラブ ミニバスクラブ 少年野球クラブ		2008年度および2010年度に外壁の改修を実施。 学校施設長寿命化計画:2028年度に大規模改修を予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1984年(39/34)											
中-8	幼稚園・ 小・中学校	八幡小学校 体育館 佐和田地区 	776	63	B1	△、総	△、総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				86/122 (70.5%)	ミニバスクラブ バドミントンクラブ 他団体		2020年度に耐震補強・外壁改修・屋根改修を実施。						
建築年(経過年/耐用年)		1982年(41/47)											
中-9	幼稚園・ 小・中学校	佐和田中学校 体育館 佐和田地区 	2,011	183	B1	総	総					○※2、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				95/122 (77.9%)	一般バスケクラブ 一般バレーボールクラブ×2 ジュニアバドミントンクラブ 少年野球クラブ 他団体×2		2010年度に耐震補強・改修。2014年度に屋上防水を実施。 学校長寿命化計画:目標使用年数を耐用年数を超える2037年度までとし、老朽化した設備や内外装の更新により延命を図る。 2024～2025年に屋根、外壁、鉄骨補修、内装・建具の改修を実施するほか、照明器具や放送設備などの電気設備及び空調や給排水管などの給排水衛生設備の改修を実施する。						
建築年(経過年/耐用年)		1973年(50/34)											

## 【資料2】 小・中学校、体育施設 (中央エリア)

【凡例】 ○※1更新(建替え)に伴う ○※2防災補強・耐震確保に伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

### 【小・中学校方針等】

”佐渡市小学校・中学校再編統合計画”に基づき、再編統合関係校がそれぞれの学校運営協議会の構成委員を中心に設置する「学校再編統合協議会(仮称)」において、検討・協議を進めます。

その後、合同の協議会等において、再編統合の方向性や課題の整理と対応等の協議・調整を重ねながら進めていきます。

No.	財産分類 (小)	施設名 	延床 面積	(H30～R2年度) 年度利用数 平均(人)	定量的 評価 (一次評価)	方策パターン							
						集約化	複合化	転用	施設 規模 の縮小 (減築)	民間 施設 の活用	実施主 体・管理 運営主体 の変更	現状 維持 (更新)	廃止 (売却/譲 渡/跡地 活用)
中-10	幼稚園・ 小・中学校	金井小学校 体育館  金井地区 建築年(経過年/耐用年) 2013年(10/34)	1,507	345	B1	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				99/122 (81.1%)	ジュニアバレークラブ×2 ミニバスクラブ ジュニアサッカークラブ 少年野球クラブ ジュニア空手 一般バドミントン		主な改修履歴はなし。						
中-11	幼稚園・ 小・中学校	金井中学校 屋内運動場  金井地区 建築年(経過年/耐用年) 1996年(27/47)	2,576	161	B1	総	総					○※2	○
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				100/122 (82.0%)	ジュニアバドミントンクラブ ジュニアバレークラブ×2 ミニバスクラブ 一般バレークラブ×2 一般バスケクラブ 一般フットサルクラブ		主な改修履歴はなし。						
中-12	幼稚園・ 小・中学校	行谷小学校 屋内体育館  新穂地区 建築年(経過年/耐用年) 1998年(25/34)	1,119	65	C	○※1、△	○※1、 △、総	○				○	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				64/122 (52.5%)	一般ソフトバレークラブ×2 少年野球クラブ 運動教室		主な改修履歴はなし。						
中-13	幼稚園・ 小・中学校	新穂小学校 体育館  新穂地区 建築年(経過年/耐用年) 2009年(14/34)	1,356	93	C	○※1、総	○※1、 総	○				○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				63/122 (51.6%)	ジュニアバレークラブ×2 ミニバスクラブ 一般バドミントンクラブ 一般バレークラブ×2 他団体×2		主な改修履歴はなし。						
中-14	幼稚園・ 小・中学校	新穂中学校 体育館  新穂地区 建築年(経過年/耐用年) 1993年(30/34)	2,204	72	B1	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				95/122 (77.9%)	ミニバスクラブ ジュニアソフトテニスクラブ 一般バレークラブ 一般ソフトバレークラブ 一般バスケクラブ 他団体×3		2010年度に外壁を改修。						
中-15	幼稚園・ 小・中学校	畑野小学校 屋内体育館  畑野地区 建築年(経過年/耐用年) 1980年(43/34)	1,656	174	C	○※1、 △、総	○※1、 △、総	○				○、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				122/122 (100%)	ミニバスクラブ ジュニアバドミントンクラブ 一般ソフトバレークラブ 一般バレークラブ		2010年度に耐震補強・改修を実施。 2029年度に大規模改修を実施予定。						
中-16	幼稚園・ 小・中学校	畑野中学校 体育館  畑野地区 建築年(経過年/耐用年) 1992年(31/34)	1,901	86	B1	総	総					○	○
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				112/122 (91.8%)	ジュニアバドミントン 一般バスケクラブ 一般バドミントンクラブ 一般ソフトバレークラブ 一般バレークラブ		2006年度に改修を実施。						
中-17	幼稚園・ 小・中学校	真野小学校 体育館  真野地区 建築年(経過年/耐用年) 1982年(41/34)	1,401	217	C	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				114/122 (93.4%)	バドミントンクラブ×2 ミニバスクラブ×2 少年野球クラブ		2004年度に外壁を改修。 2009年度に大規模改修(地震補強)を実施。						

**【資料2】 小・中学校、体育施設  
(中央エリア)**

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

**【小・中学校方針等】**

”佐渡市小学校・中学校再編統合計画”に基づき、再編統合関係校がそれぞれの学校運営協議会の構成委員を中心に設置する「学校再編統合協議会(仮称)」において、検討・協議を進めます。

その後、合同の協議会等において、再編統合の方向性や課題の整理と対応等の協議・調整を重ねながら進めていきます。

No.	財産分類(小)	施設名	延床面積	(H30～R2年度)年度利用数平均(人)	定量的評価(一次評価)	方策パターン							
						集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)	廃止(売却/譲渡/跡地活用)
中-18	幼稚園・小・中学校	真野中学校 体育館  真野地区	1,808	113	B1	総	総					○※2	
				学校開放稼働率(利用日/日数)	主な利用団体			施設の状況等					
				100/122(82.0%)	卓球部 一般バレークラブ 一般ソフトバレークラブ ジュニア剣道 一般バスケクラブ×2 一般バドミントンクラブ ジュニアバドミントンクラブ バウンドテニス			2010年度に外壁の防水改修(西側)。2013年度に防水改修を実施。					
建築年(経過年/耐用年)		1982年(41/47)											

No.	財産分類(小)	施設名	延床面積	機能	定量的評価(一次評価)	方策パターン								
						集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)	廃止(売却/跡地活用)	
中-19	体育施設	両津総合体育館 (指定管理) 	4,068	アリーナ 会議室×2 柔剣道場 トレーニングルーム	C	○※1	○※1	○	○※1		○	○※2		
				収入平均(千円)	支出平均(千円)	年度利用数平均(人)	稼働率(利用日/日数)	主な利用時間帯	主な利用団体等					
				99	6,034	37,970	アリーナ 116/122(95.1%)	昼夜両方	ミニバスケクラブ、ジュニア剣道、ジュニア陸上、一般卓球クラブ×2、ジュニア卓球クラブ、一般バスケクラブ、ジュニアバドミントンクラブ、小学校一般体操教室、エアロビクスダンス、ソフトテニス教室、一般バレークラブ、一般ソフトバレークラブ、中学校(ソフトテニス部、卓球部)					
				柔剣道場		31/122(25.4%)	夕方夜間	太極拳、一般剣道、空手団体、柔道スポーツ少年団						
建築年(経過年/耐用年)・地区		1989年(34/47)・両津地区		政策優先度 所管課の考え(方針等)										
施設の状況		2019年度に罅漏(トップライト)の修繕を実施。カーテンの劣化が進行している。また、各部屋のエアコン・1F男女トイレの換気扇・玄関扉の油圧部の故障、玄関ポーチ雨樋破損、玄関・女子シャワー室・1F女子トイレのタイル剥がれなど。												
中-20	体育施設	佐渡市総合体育館 (指定管理) 	8,689	アリーナ、会議室 軽運動場×3 柔道場、剣道場 トレーニングルーム チャイルドルーム	B1						○	○		
				収入平均(千円)	支出平均(千円)	年度利用数平均(人)	稼働率(利用日/日数)	主な利用時間帯	主な利用団体等					
				0	0	111,642	アリーナ 122/122(100%)	昼夜両方	体協卓球部、バドミントン部、バスケ部、ソフトバレー部、卓球団体、フットサッカー					
				柔道場		115/122(94.3%)	昼間	体協柔道部						
剣道場		87/122(71.3%)	昼間	体協剣道部、合気道団体、空手団体、太極拳										
建築年(経過年/耐用年)・地区		2015年(8/47)・佐和田地区		政策優先度 所管課の考え(方針等)										
施設の状況		アリーナ等照明機器LED化、冷却塔電磁弁取替、ランニングコースブラインドカーテン破損(数か所)、施設内監視モニターPC用無停電装置修繕、施設内監視モニター用PC取替、ロビー電光掲示板用PC交換、ケーブルテレビ屋内配線工事など。												
中-21	体育施設	新穂体育館 	1,384	アリーナ	B2			○				○※2 ○※3	○、個	
				収入平均(千円)	支出平均(千円)	年度利用数平均(人)	稼働率(利用日/日数)	主な利用時間帯	主な利用団体等					
				47	1,004	3,584	アリーナ 79/122(64.8%)	夕方夜間	卓球クラブ、太極拳、ジュニアバレークラブ					
				建築年(経過年/耐用年)・地区		1973年(50/34)・新穂地区		政策優先度 所管課の考え(方針等)						
施設の状況		経年劣化による躯体・外壁・天井等に損傷が見られ修繕の対応が必要。またLED照明への切り替えが必要。2019年度にガラス改修工事を実施。												
		第3次集中改革プランの方針に従い、佐渡市総合体育館に機能集約している。建設基準法に適合させるために耐火ガラスへの改修が必要である。新穂行政サービスセンターと隣接しているため、今後の安全な使用にあたってガラス改修工事を実施する。												

【資料2】 小・中学校、体育施設  
(中央エリア)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改善検討

※稼働率:令和5年6月~9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

No.	財産分類 (小)	施設名	延床 面積	機能	定量的 評価 (一次評価)	方策パターン								
						集約化	複合化	転用	施設 規模 の縮小 (減築)	民間 施設の 活用	実施主 体・管理 運営主体 の変更	現状 維持 (更新)	廃止 (売却/譲 渡/跡地 活用)	
中-22	体育施設	<b>新穂武道館</b> 	840	柔道場 剣道場	—								○※2	○
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)	主な利用 時間帯	主な利用団体等					
				0	0	2,842	柔道場 54/122 (44.3%)	夕方 夜間	柔道クラブ、空手団体					
							剣道場 64/122 (52.5%)	夕方 夜間	よさこい団体、剣道、トレーニングクラブ					
		建築年(経過年/耐用年)・地区	1982年(41/34)・新穂地区											
		施設の状況	2017年度にスポーツくじ助成事業により柔道場の畳入れ替えを実施済み。早急な修繕はないが、経年劣化による修繕の対応、LED照明への切り替えが必要。2020年12月、新型コロナウイルス対策として男女各1基のトイレ洋式化工事実施。											
		政策優先度	高 所管課の考え(方針等)											
			耐用年数は超過しているが、施設機能は良好で利用ニーズも高い。周辺に類似施設がないことから、個別対応策を機能修繕とし、設備の経年劣化に対応する。											
中-23	体育施設	<b>畑野児童館 柔剣道場</b> (児童館との複合施設) 	148	柔剣道場	—								○	
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	利用状況等							
				0	552	623	畑野小中学生の遊び場として遊技場の他、柔剣道場も利用。(開館時は毎日)畑野柔道教室および畑野中学校体育授業(柔道)で利用。柔剣道場を畑野柔道教室で週1回利用。(新型コロナウイルス感染症の影響もありここ数年利用なし)畑野中学校体育授業(柔道)で年9回利用。							
							政策優先度 所管課の考え(方針等)							
		建築年(経過年/耐用年)・地区	1985年(38/24)・畑野地区											
		施設の状況	2018年12月に屋根の修繕を実施。											
			— 学童保育施設としての整備と併せて、今後の方向性について検討する。											
中-24	体育施設	<b>真野武道館</b> 	762	柔剣道場	—								○※2	個
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)	主な利用 時間帯	主な利用団体等					
				0	0	542	柔剣道場 35/122 (28.7%)	夕方 夜間	ジュニア柔道クラブ					
							政策優先度 所管課の考え(方針等)							
		建築年(経過年/耐用年)・地区	1993年(30/22)・真野地区											
		施設の状況	外壁等の見た目は老朽化しているが、躯体や内部構造上の問題は把握されていない。桜ヶ丘区集落が集落センターとして使用(常設)											
			— 地元集落の集落センターとして使用されていること、中学校の授業等(柔道、佐渡おけさ)で使用されているため、使用が可能な限り活用していくのが妥当と考える。											
中-25	体育施設	<b>佐渡スポーツハウス</b> (指定管理) (複合施設) 	4,813	アリーナ 温水プール トレーニングルーム 会議室×2	—	△	△						○	○
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)	主な利用 時間帯	主な利用団体等					
				0	0	50,622	アリーナ 118/122 (96.7%)	夕方 夜間	中学校ソフトテニス部 一般テニスクラブ ジュニアソフトテニス部 フットサルクラブ					
							政策優先度 所管課の考え(方針等)							
		建築年(経過年/耐用年)・地区	1975年(48/50)・真野地区											
		施設の状況	児童用プールオゾン反応装置更新、温水プール水質監視装置更新工事、プール棟トップライト修繕工事、事務室パッケージエアコン追加工事、体育館ギャラリ窓枠改修、体育館床改修工事、体育館照明LED化など。											
			高 指定管理を継続しながら、耐用年数到来までは個別対応策を機能修繕とする。											

## 【資料2】 小・中学校、体育施設 (小佐渡エリア)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

### 【小・中学校方針等】

”佐渡市小学校・中学校再編統合計画”に基づき、再編統合関係校がそれぞれの学校運営協議会の構成委員を中心に設置する「学校再編統合協議会(仮称)」において、検討・協議を進めます。  
その後、合同の協議会等において、再編統合の方向性や課題の整理と対応等の協議・調整を重ねながら進めていきます。

No.	財産分類 (小)	施設名	延床 面積	(H30～R2年度) 年度利用数 平均(人)	定量的 評価 (一次評価)	方策パターン							
						集約化	複合化	転用	施設 規模 の縮小 (減築)	民間 施設 の活用	実施主 体、管理 運営主体 の変更	現状 維持 (更新)	廃止 (売却/譲 渡/跡地 活用)
小-1	幼稚園・ 小・中学校	前浜小・中併設校 体育館 両津地区 	1,026	6	C	○※1 △、総	○※1 △、総	○				○	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				71/122 (58.2%)	ジュニアバドミントン部×2 その他団体		主な改修履歴はなし。						
建築年(経過年/耐用年)		1996年(27/34)											
小-2	幼稚園・ 小・中学校	松ヶ崎小・中併設校 体育館 畑野地区 	563	9	A	総	総					○※2、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				58/122 (47.5%)	一般卓球クラブ		2004年度以降は主な改修履歴はなし。 学校施設長寿命化計画:2025年度に大規模改修を実施予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1978年(45/34)											
小-3	幼稚園・ 小・中学校	小木小学校 体育館 小木地区 	1,363	93	C	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				17/122 (13.9%)	少年野球クラブ ミニバスクラブ 少年サッカークラブ		2014年度に大規模改修を実施。						
建築年(経過年/耐用年)		2001年(22/34)											
小-4	幼稚園・ 小・中学校	羽茂小学校 体育館 羽茂地区 	1,561	140	C	総	総					○※2、個	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				67/122 (54.9%)	ミニバスクラブ 少年サッカークラブ 少年野球クラブ		一部雨漏りが発生している。 学校施設長寿命化計画:2025年度～2026年度にかけて 大規模改修を実施予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1995年(28/47)											
小-5	幼稚園・ 小・中学校	南佐渡中学校 体育館 羽茂地区 	3,041	99	C	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				67/122 (54.9%)	ミニバスクラブ 一般バスケクラブ×2 一般ソフトテニスクラブ×2 バドミントンクラブ		2016年度にギャラリーの手摺を増設。 外構の一部に隆起が発生している。						
建築年(経過年/耐用年)		2014年(9/47)											
小-6	幼稚園・ 小・中学校	赤泊小学校 体育館 赤泊地区 	946	63	C	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				25/122 (20.5%)	ミニバスクラブ		主な改修履歴はなし。						
建築年(経過年/耐用年)		2005年(18/47)											
小-7	幼稚園・ 小・中学校	赤泊中学校 体育館 赤泊地区 	1,715	34	C	総	総					○※2	
				学校開放稼働率 (利用日/日数)	主な利用団体		施設の状況等						
				34/122 (27.9%)	ジュニアバレークラブ ミニバスクラブ×2 少年野球クラブ		2016年度特定天井改修実施。 2025年度照明設備更新工事予定。						
建築年(経過年/耐用年)		1982年(41/47)											

【資料2】 小・中学校、体育施設  
(小佐渡エリア)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針  
定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

※稼働率:令和5年6月～9月で利用のあった日数の割合(学校は学校開放での利用を対象)

No.	財産分類 (小)	施設名	延床 面積	機能	定量的 評価 (一次評価)	方策パターン							
						集約化	複合化	転用	施設 規模 の縮小 (減築)	民間 施設 の活用	実施主 体・管理 運営主体 の変更	現状 維持 (更新)	廃止 (売却/譲 渡/跡地 活用)
小-8	体育施設	<b>小木B&amp;G 海洋センター体育館</b> (プールとの複合施設) 	1,716	アリーナ トレーニングルーム(柔剣道場) ミーティングルーム	C	○※1、△	○※1、△	○				○※3	
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)		主な利用 時間帯	主な利用団体等			
				104	6,137	5,181	アリーナ	115/122 (94.3%)	昼夜 両方	一般市民個人、児童クラブ、 一般バドミントンクラブ、 ジュニアバドミントンスクール、 一般バレークラブ×2、 ソフトバレークラブ			
							トレーニング ルーム	52/122 (42.6%)	夕方 夜間	一般市民個人、児童クラブ、 ジュニア剣道クラブ、太鼓団体×2、 ヒラティスクラブ			
建築年(経過年/耐用年)・地区		1984年(39/47)・小木地区											
施設の状態		経年劣化による屋根・外壁に損傷が見られる。											
政策優先度		所管課の考え(方針等)											
高		小木地区内で唯一一般開放できる施設である。老朽化への対応と利用者の安全確保のため、個別対応策を機能修繕とする。											
小-9	体育施設	<b>羽茂B&amp;G 海洋センター体育館</b> (プールとの複合施設) 	1,842	アリーナ トレーニングルーム(柔剣道場) ミーティングルーム	A							○※2	
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)		主な利用 時間帯	主な利用団体等			
				6,385	22,681	8,451	アリーナ	84/122 (68.9%)	夕方 夜間	一般市民個人、一般ソフトバレークラブ 一般バドミントンクラブ、 ジュニアバドミントンスクール			
							トレーニング ルーム	58/122 (47.5%)	昼夜 両方	一般市民個人 ジュニア体操クラブ			
建築年(経過年/耐用年)・地区		1993年(30/47)・羽茂地区											
施設の状態		2019年度に高圧器内開閉器・高圧ケーブル取換工事を実施。											
政策優先度		所管課の考え(方針等)											
高		耐用年数は超過しているが、施設機能は必要であるため、個別対応策を機能修繕とし、施設の経年劣化に対応する。											
小-10	体育施設	<b>赤泊体育館</b> 	1,460	アリーナ	C	○※1、△	○※1、△	○	○※1			○※2	
				収入平均 (千円)	支出平均 (千円)	年度利用数 平均(人)	稼働率 (利用日/日数)		主な利用 時間帯	主な利用団体等			
				92	2,651	5,359	アリーナ	92/122 (75.4%)	夕方 夜間	一般市民個人、一般バドミントンクラブ 一般卓球クラブ、一般バレークラブ 一般バスケットクラブ、一般ソフトバレークラブ ジュニアバレークラブ、ミニバスクラブ			
建築年(経過年/耐用年)・地区		1976年(47/47)・赤泊地区											
施設の状態		2019年度に内外壁の修繕、屋根の防水工事を実施。暗幕は使用に耐えない状態となっている。											
政策優先度		所管課の考え(方針等)											
-		老朽化への対応による施設利用者の安全確保を最優先として機能修繕する。											